

---

## 令和4年度 第1回豊田市上下水道事業審議会 会議録

---

【日時】 令和4年5月30日（月） 午後1時～3時

【場所】 豊田市役所 南51会議室

- 【次第】
- 1 委嘱状交付（新委員のみ）
  - 2 諮問書伝達
  - 3 市長あいさつ
  - 4 審議会委員及び事務局紹介
  - 5 会長あいさつ
  - 6 議事
    - (1) 諮問内容について
    - (2) 水道事業の概要、料金改定の必要性について
      - ・今後の水道事業の方向性
      - ・断水状況の事例、今後の維持管理
      - ・経営の現状、将来の水需要予測、費用削減に向けた取組
    - (3) 水道工事分担金について
  - 7 事業管理者あいさつ

【出席者】 <委員>

竹内 信仁（名古屋大学名誉教授）	※会長
中山 恵子（中京大学経済学部教授）	※副会長
神頭 広好（愛知大学経営学部教授）	
松本 嘉孝（豊田工業高等専門学校准教授）	
藤嶋 伸一郎（豊田商工会議所：豊田信用金庫 理事長）	
杉本 敦子（豊田商工会議所女性会会長）	
吉橋 一典（豊田市区長会理事）	
松原 秀敏（豊田市小中学校長会）	
片桐 正博（豊田森林組合代表理事組合長）	
石橋 博文（豊田加茂薬剤師会監事）	
安藤 ひろみ（下山地域会議委員）	
大島 年春（稲武地域会議会長）	
城金 茂樹（公募委員）	
青木 厚子（公募委員）	

<事務局>

前田 雄治（豊田市事業管理者）	
成瀬 光明（上下水道局局長）	
田中 統（上下水道局副局長）	
下川 涼太郎（上下水道局総務課長）	

澤田 亜紀（上下水道局経営管理課長）  
岡田 政彦（上下水道局企画課長）  
山本 直彦（上下水道局料金課長）  
澤田 善之（上下水道局水道整備課長）  
河合 保幸（上下水道局水道維持課長）  
岩田 裕二（上下水道局上水運用センター所長）  
堀江 莊平（上下水道局下水道施設課長）  
竹村 浩一（上下水道局下水道建設課長）

【傍聴者】 なし

#### 【議事等の摘要】

- 1 委嘱状交付（新委員のみ）
- 2 諮問書伝達
- 3 市長あいさつ

- ・先日、明治用水頭首工で漏水が起こり、取水ができなくなりました。和歌山市の水管橋の崩落事故が思い出されます。高齢化問題という大きな政策テーマがある一方で、インフラの高齢化、老朽化対策も大きなテーマであると改めて感じており、行政の責任も大きいものと考えています。
- ・本市の水道事業は20数年にわたって、料金を上げずに取り組んできたが、インフラの高齢化を考えると、前倒しで手を打っておかなければ、社会不安は増すばかりと考えます。
- ・世界情勢が不安定で、経済への影響も懸念され、また、電気料金やガス料金の値上げも続くなか、水道料金のあり方についての諮問をさせていただきました。非常に難しい御審議をお願いすることになろうかと思いますが、忌憚のない意見交換をしていただき、答申いただくのをお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。今日は、本当にありがとうございます。

- 4 審議会委員紹介及び事務局職員紹介

- ・審議会名簿、上下水道局の組織図で紹介

- 5 会長あいさつ

- ・4名の方が新たな委員となりました。また、市長より「適正な水道料金等のあり方について」諮問をいただきました。
- ・当該審議会の役割は、「上下水道事業に関する必要な調査及び審議」となっておりまして、その中でも4年に1度見直しが行われる水道料金及び下水道の使用料のあり方については、委員の皆さまから多角的にご審議いただくことが重要であります。
- ・皆様の活発なご発言をいただきながら、円滑な議事進行に努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 6 議事

### (1) 諮問内容について

#### ○事務局

- ・資料に基づいて説明

### (2) 水道事業の概要、料金改定の必要性について

#### <今後の水道事業の方向性>

#### ○事務局

- ・資料に基づいて説明

#### ○A委員

- ・水道ストックマネジメント計画における老朽化に対する取組で、法定耐用年数と目標耐用年数を示されたが、目標耐用年数の設定根拠を教えてください。

#### ○事務局

- ・目標耐用年数の設定は、これまでの更新にかかる経験値や知識等をはじめ、他市の更新時期も参考にして判断した。

#### ○B委員

- ・今後の更新予測、費用の算定については、現状の施設や管路をそのまま維持するとしたらという前提か。もしくは、大きく減ることはないと思うが、更新に合わせて施設等を削減する予定等が盛り込まれているのか確認したい。

#### ○事務局

- ・水道ストックマネジメント計画において、更新時にダウンサイジングも考慮して事業を進める。また、統合した簡易水道事業による施設の統廃合や効率的な水運用により、経費削減に取り組んでいく。

#### ○C委員

- ・耐震化にかかる総額の費用が示されたが、すべて利用者負担となるのか。

#### ○事務局

- ・耐震化対策につきましては、これまでも県の補助金を活用しており、補助対象額の3分の1を補助金で賄う想定である。

#### <断水状況の事例、今後の維持管理>

#### ○事務局

- ・資料に基づいて説明

#### ○A委員

- ・老朽化による漏水の発生以外にどのような原因による漏水があるか。

#### ○事務局

- ・本管と給水管の接続部において負荷がかかると漏水しやすい状況である。

#### <経営の現状、将来の水需要予測、費用削減に向けた取組>

#### ○事務局

- ・資料に基づいて説明

○D委員

- ・収支の構造の収益的収支の収入欄において、水道料金以外に他会計補助金負担金等が示されているが、同水準で推移していくのかどうか、見通しを教えてください。

○事務局

- ・必要な経費として、一般会計からの繰入を行っているところですが、同水準の繰入を行うことで料金算定をシミュレーションする想定である。ただ、料金算定に影響を及ぼすため、審議会の予定にあわせて一般会計との調整も行っていく。

○A委員

- ・給水区域の見直しについて、もう一度詳細に説明をお願いしたい。

○事務局

- ・現在の水道利用者に影響がないようにすることを原則に、給水区域を見直します。現状は、水供給の必要がない区域もあるので、その点を見直すことで、適正な給水区域へと修正する。

○A委員

- ・給水区域の見直しで、どれくらいの経済的効果を見込んでいるか。

○事務局

- ・金額としていくら抑制できるかは算定できておりません。ただ、現状の給水区域全体において水供給を行うこととなれば、新たな施設整備も必要となり、経営に影響を与えるため、今後、水供給の必要がないところの整備を抑制するよう区域の見直しを行ってまいります。

(3) 水道工事分担金について

○A委員

- ・工事分担金の見直しで、どれくらいの経済的効果を見込んでいるか。

○事務局

- ・水道工事分担にかかる豊田市の負担としては、約1億5000万円である。このうち、どれぐらいを申請者負担とするか、また今後どれぐらいの申請があるかにもよるが、最大で1億5000万円の経済的効果が見込まれる。

7 事業管理者あいさつ

- ・本日は審議ありがとうございました。施設の老朽化や漏水事例への対応など水道の現状、課題を御理解いただけたと考えています。
- ・市民の皆様には水道事業への理解を深めてもらうため、6月1日から始まる水道週間に合わせ、広報6月号に特集記事を掲載しました。また、6月4日土曜日には駅前の「とよしば」にて水道フェスタを開催し、豊田市の水道についてわかっているような取り組みもしてまいります。
- ・大変な審議が続いてまいります。今後ともよろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

午後3時00分終了